

有明抄

「私みたいな変わり種がいたっていいでしょ。九大名教授高田眞清氏が来社された。」

名刺の肩書は「国際ハイウェイプロジェクト、日韓トンネル研究会、九州支部長」とある。たまたまこの欄にドーバー海峡トンネルの話が載った日だ。日韓トンネル構想はしばらくと書いていたら、さる県庁幹部から電話があり「あれはほんじやないよ。すでに五年前から研究会が発足、東京事務局、九州支部が置かれ、唐津市神田にも事務所がある。民間の研究団体として発足、予算約五十億円。トンネルの日本側起点は呼子町、玄坂、対馬経由、韓国釜山近郊と連絡する。総延長三百三十キロで青函トンネルの約四倍。総工費もその四倍として三兆二千億円は、日本のGNPの百分の一。」「いっぺんに必要ではありませんから」と高田氏。人工島を作れば工期も十数年に短縮できるという。●百六十五人の調査船が三隻にヘリも一機使ひ、ボーリングも十三カ所すませた。技術陣も青函トンネルのスタッフが控えてい

る。人工島の深さ七十メートルは実証しているが、百七十メートルは大丈夫なのか、ネックといふはそのあたりという。●この十五日午後一時半から佐賀商工会館ホールで「日韓トンネル佐賀報告会」があり、技術的見通しが報告される。佐々保雄研究会長、国際ハイウェイ事業団の梶原玄太郎氏はじめ、木村敏雄東大名教授、山崎達雄九大名誉教授、表俊一郎九洲大教授、中山孝一橋大教授らの報告や総括がある。●この日韓トンネル構想は、言い出しは統一原理教団の文鮮明開。その布教のあり方には、日本人は、プレルギーを持つており、だからこの雄大な構想へもある種のまなざしを注いでいるようだ。高田氏は「私は統一原理教とはいっさい関係ありません」。●同先生の話によれば、最近、中国が暴れだしたと云う。北朝鮮も話には乗るだろつし、そうなればトンネルが通ると、朝鮮半島縦断、北京、シルクロード経由、中近東、ヨーロッパへの「汽車の旅」ができる。何より経済が活ばれ、戦争がしにくくなる。●西暦二千年一月一日、東京ロンドン超特急電車？(題)